資料2

納入時間均等化&
納入時間遵守の取組

2015年12月14日

富士重工業(株)群馬製作所

納入時間均等化&納入時間遵守の取組

◆納入時間遵守&納入時間均等化と共に、輸送効率を考慮した基準の見直しを実施。

	活動内容	改善前	改善後
1	取引先毎の荷量に応じた納入回数を設定 ＜添付資料1＞	少量多頻度輸送の為、ﾄﾗｯｸ台数増加、充填率の低さが見られる。	荷量に応じた納入頻度へ変更した事で、ﾄﾗｯｸ台数削減、充填率が高まった。
2	混載便拡大 ＜添付資料2＞	各納場GR別に輸送していた為、ﾄﾗｯｸ台数増加、充填率の低さが見られる。	異納場部品の混載によりﾄﾗｯｸ台数削減、充填率が高まった。
3	納入時間均等化 ＜添付資料3＞	納入時間の間隔が不均等だと、便毎に荷量が変化する為、トラック台数増加となる。	納入指定時間の間隔が均等になる事で荷量が均等となる為、ﾄﾗｯｸ台数が削減できる。
4	納入時間遵守 (構内荷役時間遵守) ＜添付資料4＞	構内荷役時間に遅れが発生している為、工場内で待機している。	荷役時間が遵守される事で、待機時間が緩和される。(構外道路事情は除く)

1. 便数(荷量)に応じた納入回数を設定<添付資料1>

◆取引先毎に便数(荷量)に応じた納入回数を設定する事でトラック台数削減となる。(トラックサイズは取引先の希望に応じて変更)

区分		納入便数（便/日）	納入回数（回/日）	納入時間（トラックポート着時間）			
				1回	2回	3回	4回
パターンA	1	1便	1回	0:			
	2			3:			
パターンB	1	2便	2回	3:			
	2			7:3			
	3			1			
パターンC	1	3便	3回	3:			
	2			7:30～8:30	13:30～15:50	19:50～23:00	
パターンF	1	4便	4回	5:30～6:30	11:30～12:30	15:50～16:50	20:00～21:00
	2			6:30～7:30	11:30～12:30	15:50～16:50	20:00～21:00
パターンG	1			7:30～8:30	12:30～13:30	16:50～17:50	21:00～22:00
	2			8:30～9:30	13:40～14:40	17:50～18:50	23:00～0:00

◆納入便数(便/日)は、1日の荷量を取引先が指定するトラックサイズに応じて決定する。
(例) 55m3/日　4t=3台、10t=2台

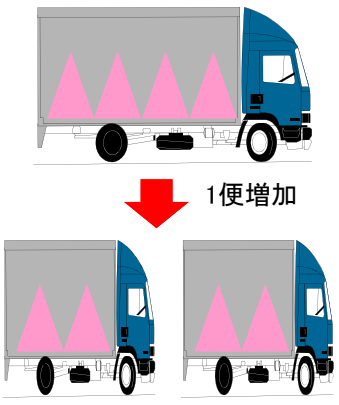
FHI ⇔ 合意 ⇔ 取引先

2.混載便拡大によるトラック台数削減<添付資料2>

◆従来の輸送形態である小ロット納入から、混載小ロット納入の拡大を図る事によりトラック台数削減となる。

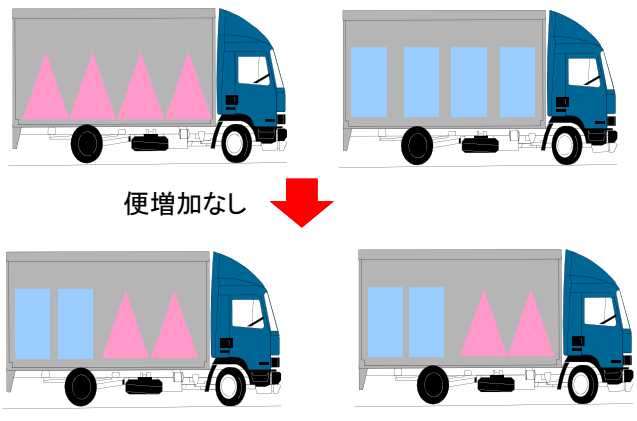
改善前

1.小ロット納入



改善後

2.混載小ロット納入

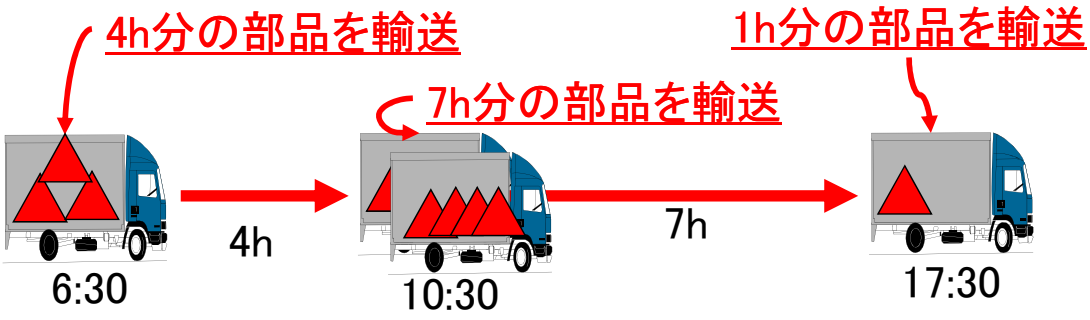


3.納入時間均等化

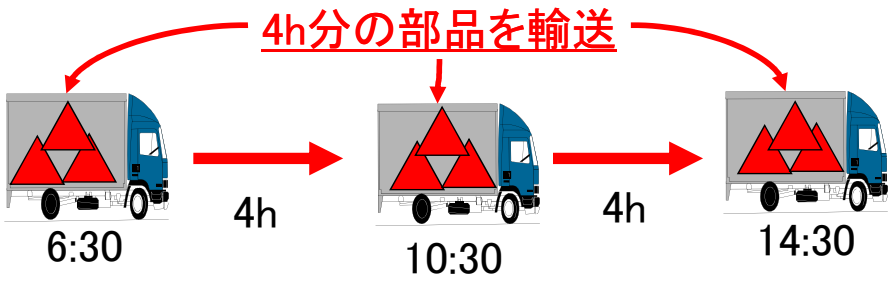
＜添付資料3＞

◆納入時間の間隔により、当社より発注する部品の数量が変化する。
不均等指示の場合 充填率の低下：瞬間的にﾄﾗｯｸ台数が増加する。

1)不均等

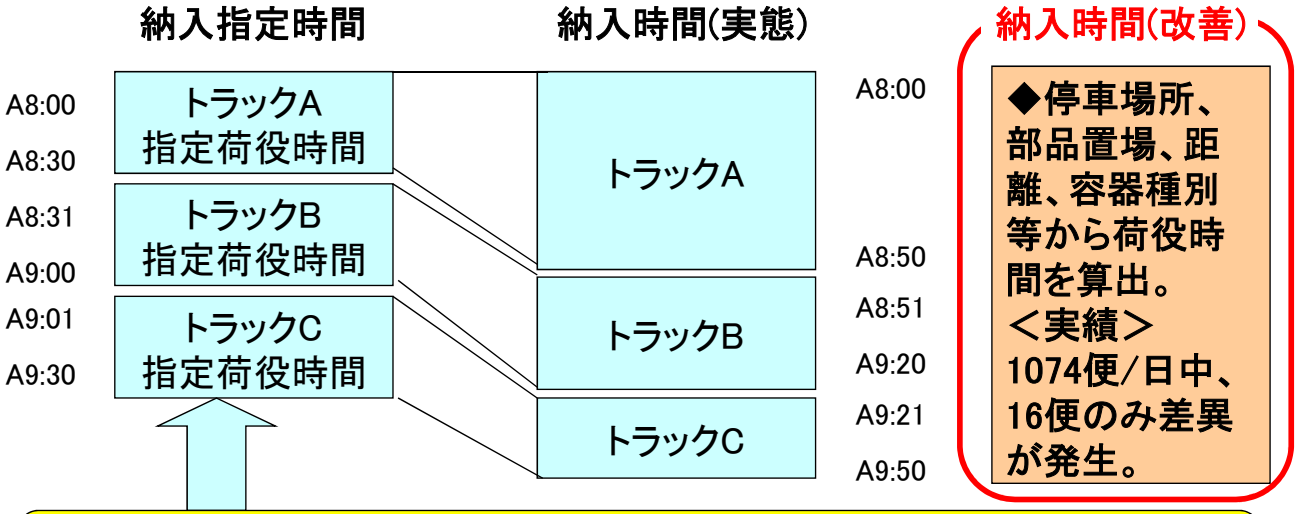


2)均等



4.納入時間遵守(構内荷役時間遵守) ＜添付資料4＞

◆納入時間遵守に向けて、各トラックの荷役時間(開始、完了)の精度を上げた。この活動によりトラックの待機時間削減が出来る。



納入時間(改善)

◆停車場所、部品置場、距離、容器種別等から荷役時間を算出。
＜実績＞
1074便/日中、16便のみ差異が発生。

◆各トラックは納入指定時間に合わせて運行している為、荷役時間の差異により、待機時間が発生する。

納入時間均等化&納入時間遵守の効果

	活動内容	効果	実施時期
1	取引先毎の荷量に 応じた納入回数を設定	■納入便数削減 △1.5%/月 ■稼働時間内荷役率 ・am5:30～pm24:00 ＋13%増加(68%→81%)	□トリムショップ 本工場：2013年1月～ 矢島工場：2014年1月～ □ボディーショップ 本工場：2016年1月～ 矢島工場：2016年4月～
2	混載便拡大		
3	納入時間均等化		
4	納入時間遵守 (構内荷役時間遵守)	■納入時間順守率 ・＋26%(66%→92%)	

おわり